

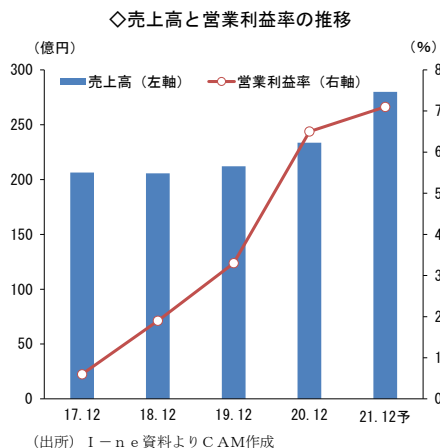
企業ニュース I-ne

(東証マザーズ: 4933) <https://i-ne.co.jp/>

作成者: 高見澤晶子

ヘアケア用品や美容家電の開発・販売を手掛ける

2007年設立。ヘアケア用品、美容家電、健康食品などの開発・販売を行っている。製造は外部に委託しており、自社で工場を持たないファブレス企業。AIシステムを活用して消費のトレンドをつかみ、オンラインでのテスト販売を通してヒット精度を高めてから、ドラッグストアやコンビニなどの実店舗に商品を本格投入する。当社が主力ブランドに位置付けるのは、ヘアケア用品「ボタニスト」、ヘアアイロン「サロニア」。この2ブランドで売上高の約8割を占める(20.12期実績)。また、育成中のブランドには禁煙サポート用品「ニコレス」、化粧品「カロミー」、日本コカ・コーラ社との共同出資で展開するリラクゼーションドリンク「チルアウト」などがある。



上期業績上振れ、成長に向けた追加投資を行う方針

21.12期・第2四半期累計(1-6月)の連結業績は、売上高が143億円、前年同期比36%増、営業利益が16億円、同3.8倍。計画に対して売上高で23億円、営業利益で14億円上振れた。配荷店舗拡大などの施策が奏功し、主力ブランド、育成ブランドともに前年同期比大幅増収となった。規模は小さいが、中国事業でも実店舗への販売網拡大など着実な成長が見られた。利益面では、プロモーション投資を強化した一方、増収効果と資材の共通化による原価率の改善が寄与し、同大幅増益となった。

21.12期の通期会社計画は、売上高が280億円、前期比20%増、営業利益が20億円、同32%増。上期実績を踏まえ、売上高で23億円、営業利益で4億円を増額した。上期の上振れ分に対して営業利益の増額幅が小さいのは、既存ブランド、新規立ち上げのブランド、中国事業などへの成長投資を約10億円追加したため。下期はボタニストのリニューアル効果、ニコレスの取り扱いコンビニやチルアウトの取り扱い自動販売機の増加が寄与し、売上拡大が期待できよう。

[株価動向・投資判断]

主力ブランドを中心とした力強い成長が期待できよう。中国をはじめ海外展開の動向にも注目したい。

<4933 Ine 業績: 日本基準>

[今期予想の配当金は発行会社予想]

	売上高	営業利益	経常利益	当期利益	1株利益	1株配当
	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	円	円
19.12	21,206 (3)	702 (94)	649 (137)	464 (185)	58.3	0.00
20.12	23,363 (10)	1,512 (115)	1,389 (114)	905 (95)	123.2	0.00
21.12 予	28,000 (20)	2,000 (32)	1,900 (37)	1,050 (16)	120.6	0.00

(注) 2019年4月27日付普通株式1株につき100株の株式分割、2019年11月15日付普通株式1株につき50株の株式分割を実施。

19.12期期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株利益を算出。



[主要株価指標]		(売買単位: 100株)
株価 (2021/8/27)		4,805 円
年初来高値 (高値日)		6,890 円 (21/6/14)
同 安値 (安値日)		3,090 円 (21/2/17)
予想 P E R (21.12 予)		40.0 倍
1株株主資本 (PBR算出用)		925.4 円
P B R		5.19 倍
予想配当利回り		0.00 %
(1株当たり配当金年0.00円)		
R O E (20.12)		20.9 %
発行済み株式数		874 万株